

理科読を楽しむ会2019

2019年12月10日(火)の午後、理数科2年生が「理科読を楽しむ会2019」を開催しました。

吉田南小学校、西益田小学校、益田高校と3つの会場に分かれ、小学生に実験や読み聞かせを通しながら、空気の重さ、力などについて考え、体感してもらいました。

準備の段階で、空気に重さがあることや力があることを体感するにはどんな実験をすればよいのか、実験の現象を難しい言葉を使わずにどう説明すれば、小学生に伝わるのか各々が考え、当日に臨みました。

当日は、ファシリテーターを中心に進行を行い、各班に高校生が付き、いろいろな実験を小学生に分かりやすく説明を重ねました。最初は上手くできるか不安そうだった高校生も、小学生の反応の良さに次第に自分たちでさらに説明を加えたりしながら、各班盛り上がっていました。ロケット作りや新聞紙ドームなど大きな活動が入ると、さらに小学生が活発になり、ファシリテーターが戸惑いながらも大きな声で指示を出したり、実験が上手いかわなくて失敗したりと、自分たちの予想通りに進まないこともありましたが、そういった経験を通して、状況に応じた対応力等を身につけることができたように思います。

たくさんの小学校に参加していただき、ありがとうございました。



小学生の感想より

○下敷きで机を持ち上げる実験では、予想とは違う結果でとてもびっくりしたけど、説明が丁寧で分かりやすくとても良かった。

○新聞紙ドームが一番楽しかった。中に入ってみると、結構広くて驚きました。

○いろいろな実験があってすごくおもしろかったし、空気について初めて分かったこともたくさんあった。

高校生の感想より

○小学生に説明することで、自分自身が空気についての知識を再確認することができた。

○小学生に教えることで、自分が何を理解していないかを知り、もっと学ぼうと思った。自分たちが当たり前だと考えていたことを小学生に質問され、あらためて考える良い機会になった。